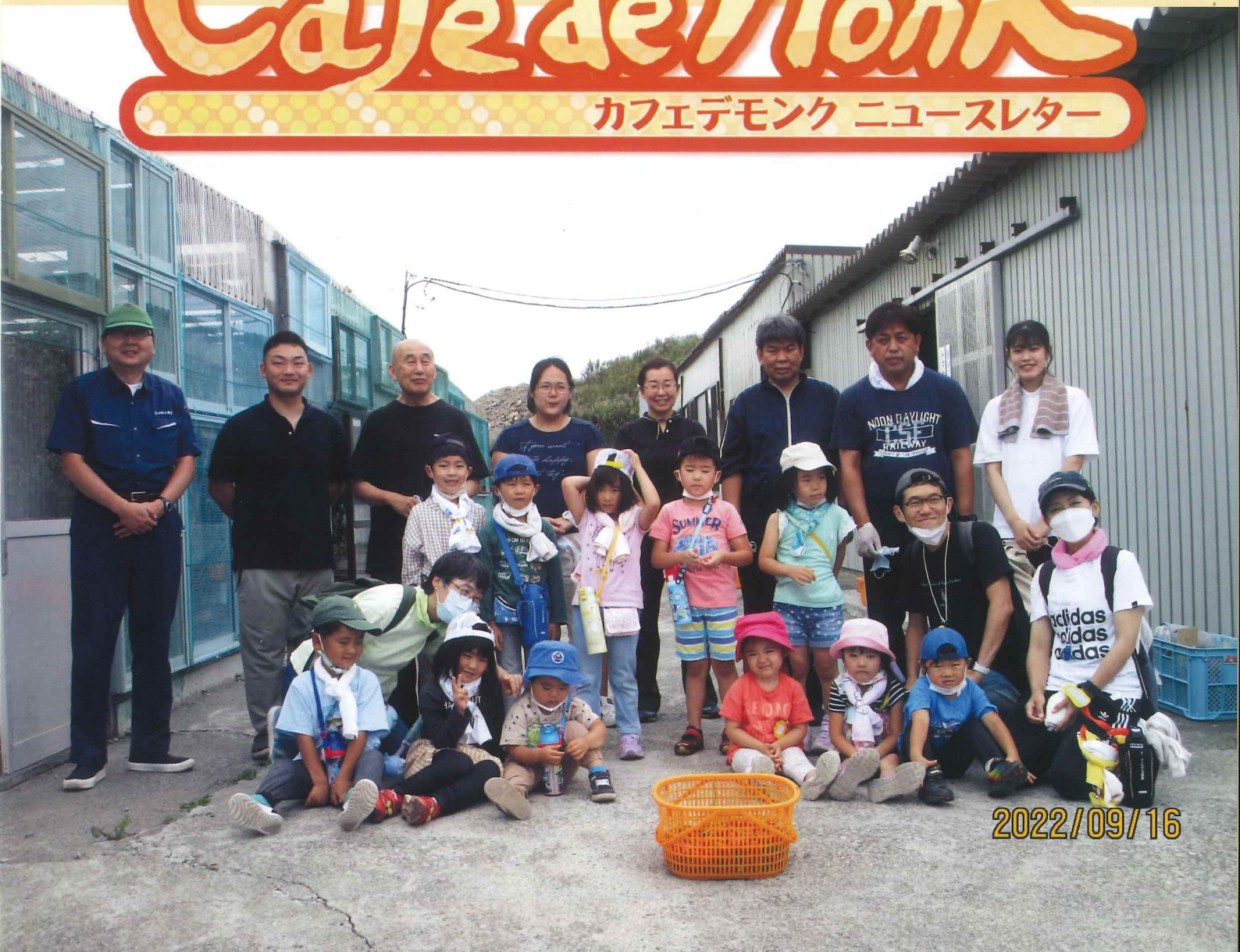


Cafe de Monk

カフェデモンク ニュースレター



例会

文：水野 琢磨



月に1度のサロンを開催しています。現在は、コロナ禍の影響で坂田土建さんのレストランエリアを使っています。ひがし町診療所デイケアメンバーや、えりも町の人たちが参加してくれます。サロンでは、集まった人たちが、楽しく話をしています。僕は話すのが苦手なのですが、参加するだけでもいいと思って毎回参加しています。早くコロナが収束し、皆さんともお会いできる環境になるといいと思います。これからも継続して頑張っていきたいと思っています。

体操教室

文：田中・水野

胆振東部地震をきっかけに、厚真町でのボランティアとして、当時、サロン活動や体操教室をやっていた方とのご縁があり、コロナ禍での活動の工夫として、オンラインで厚真町の方とともに体操教室を現在も続けています。画面越しではあるものの、みなさんの元気な姿がみられ、久しぶりの再会を喜ぶ声も聞かれました。先日、機会があって厚真町に行った際には、直接お会いできた方もいてうれしかったです。今後も、相互交流に取り組みめたらと思っています。



農福連携の取り組み

文：木村 貴大



昨年度より、笛舞にある坂田土建組株式会社と協働で農福連携の取り組みに挑戦しています。浦河ひがし町診療所のデイケアメンバーらが中心となって、夏季は「アイコトマト」、冬季は「ほうれん草」の苗植えから出荷までのプロセスに参加しています。参加者それぞれが自分の得意とする作業に加わり、協力して商品を作ります。実際に店頭に並んでいるのを見るのは嬉しくもあり、やってよかったと感じます。現在の取り組みが、さらに発展していくように今後も活動を継続したいと思います。

デザインミーティング

文：HT



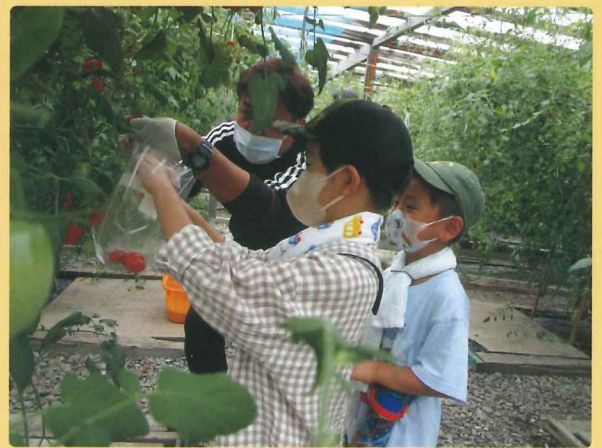
農福連携の取り組み振り返りや、今後の構想について語り合うためのデザインミーティングも行なわれました。カフェデモンク代表佐野住職をはじめ、坂田土建(株)、えりも町役場、ボランティア、浦河ひがし町診療所から、スタッフやメンバーらが参加しています。今、自分たちがやっていることを、仕事にしたい。でも、息が詰まらないように、安心して働ける職場って何か。そういった話題もあがっており、参加者全員で知恵を出し合っています。

トマト狩りボランティア

文：田中 孝治

昨年の8月から、トマトやほうれん草の収穫に挑戦しています。慣れないなか、つかれもありますが、音楽をきいたりして、楽しくやっています。みんなも楽しそうにやっています。

そのなか、幼稚園の子どもたちがトマトを収穫する機会があり、ボランティアとして参加しました。子どもたちが元気に走り回っており、自分も参加してよかったと感じました。また、子どもたちと一緒に作業ができたと思います。お昼には、ジンギスカンを食べ、午後からの作業も頑張れました。これからも、作業を盛り上げられるような仕事をしたいと思います。



福祉仏教全国連絡協議会講演

文：柳 一茂



2022年9月、文化時報が主催する福祉仏教全国連絡協議会のオンライン講演に、佐野住職をはじめメンバーと参加しました。講演では、これまでの活動や最近の取り組みについて広く紹介し、自分たちの病気の体験も話すことができました。あらためて、カフェデモンクの活動が自分にとって大きな意味をもっていると感じました。参加したみなさんからは、あたたかい言葉をいただき、今回の経験をこれからの活動に活かしていきたいと思いました。

代表挨拶

令和5年となり、昨今はますます寒い季節を迎えています。皆さま、如何お過ごしでしょうか？ 昨年1年を振り返って、ニュースレターをお届けしますので、ご覧をお願いいたします。

コロナ禍は続いていますが、たくさんの方々のご協力と、ご支援を頂戴し、昨年もさまざまな活動を継続することができました。写真と参加者のコメントを加えてご報告します。

色々な活動の中で、私たちは多くのことを学びながら、ゆっくりと一歩ずつ前に進んでいます。楽しく充実した時を過ごせますように、今後もしもご指導とご参加を、切にお願い申し上げます。



カフェデモンクえりも代表 佐野 俊也

発行



事務局

〒057-0007 北海道浦河郡浦河町東町ちのみ1-1-1
医療法人薪水 浦河ひがし町診療所
TEL 0146-22-7800 FAX 0146-22-7801